

## 就職体験談

卒業生氏名：チャン ティ キム

卒業年度：2026年3月

卒業学部：中部学院大学大学院（修士課程） 人間福祉学研究科

留学は決して簡単な道ではありません。母国を離れ、新しい言語を使いながら、気候や文化の異なる環境に適応していく必要があります。しかし、留学を選んだ皆さんは、それぞれ将来の目標や「どのような自分になりたいか」という思いを持ち、その夢を実現するためにここに来ているのだと思います。

私はこれまで、Facebook の留学生コミュニティでいくつかの体験談を目にしてきました。例えば、ある女子学生は「今は就職がとても難しく、日本語力が足りないため、どの会社にも採用されない。進学すべきか悩んでいる」と話していました。また別の学生は、「アルバイトばかりで勉強がおろそかになり、卒業できず、日本語力も不十分で良い仕事に就けず、とても後悔している」と述べています。さらに、「卒業後に就職活動を始めたが遅すぎて、ビザの更新も難しくなった。もっと早く始めればよかった」という声もあります。

門間由記子、高橋修、猪股歳之（2019）の研究によると、日本企業が外国人を採用する際に最も重視するのは、「日本語能力」、「コミュニケーション能力」、「バイタリティ」「熱意（志望度）」などを挙げています。一方で、留学生が感じる就職活動の困難としては、「エントリーシートの作成」、「筆記試験」、「面接」が挙げられています。つまり、日本語力、コミュニケーション能力、専門知識、そして社会的スキル（EQ）が重要であると言えます。

このような状況の中で、留学生が就職機会を得るためには、留学を始めた段階から将来の進路を考えることが非常に重要です。短期的・長期的な計画を立て、それぞれの段階で目標を設定し、それを達成するための自己管理能力を身につけることが求められます。また、日本語能力や専門知識の向上にも継続的に取り組む必要があります。その過程において、先生方やクラスメートの存在は大きな支えとなります。今のように学べる環境があるうちに、積極的に学び、遠慮せずに質問し、知識を自分のものとして将来に活かしていくことが大切です。中部学院大学は、実践と理論を重視した教育を行い、専門性の高い教員が指導する環境が整った、信頼できる学びの場です。皆さんが夢を実現するための大きな支えとなるでしょう。

また、学業だけでなく、日本人学生との交流も積極的に行うことが重要です。これは日本語能力の向上だけでなく、日本の文化やコミュニケーションの特徴を理解するうえでも非常に役立ちます。こうした経験は、就職活動や職場への適応において欠かせないものとなります。

さらに、日本の就職活動の特徴として、卒業の約1年前から活動を始める点が挙げられます。中国やドイツ、イギリス、ベトナム、タイなどでは、卒業後、あるいは卒業直前に就職活動を行うことが一般的ですが、日本ではより早い段階から準備を始める必要があります。そのため、留学生の皆さんも早めに意識し、行動することが大切です。

また、就職活動を支援する体制として、大学にはキャリア支援の部署があります。面接対策や履歴書作成などについてサポートを受けることで、より良い準備が可能になります。

最後に、どの道も決して簡単ではありません。しかし、乗り越えられない困難ありません。日本語力、専門的な知識、そして社会的なスキルをしっかり身につけることで、就職活動の不安は大きく軽減されるでしょう。